

日野川タイムライン検討会 第2回 ニュースレター

平成30年年1月26日（金）鳥取県西部総合事務所（13:30～16:30）

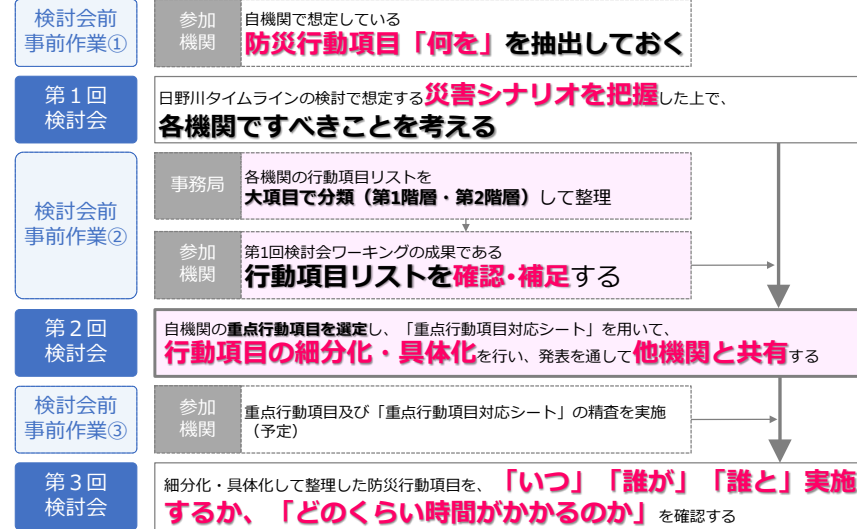
◆ 参加機関（県、4市町村、17機関）

座長	鳥取大学地域安全工学センター	黒岩教授
副座長	鳥取大学地域安全工学センター	梶川准教授
米子市 防災安全課	気象庁 鳥取地方気象台	
米子市 維持管理課	国交省 倉吉河川国道事務所	
米子市 長寿社会課	国交省 日野川河川事務所	
米子市 学校教育課	防衛省 陸上自衛隊 第8普通課連隊	
米子市 水道局	福祉施設事業者	
伯耆町 総務課		
伯耆町 地域整備課	なんぶ幸朋苑	
伯耆町 福祉課	ゆうゆう壱番館よなご	
伯耆町 教育委員会	よなご太平園	
南部町 総務課	GHやまもと	
南部町 建設課	博愛会	
南部町 健康福祉課	米子WH	
南部町 総務学校教育課	JR西日本 米子支社 安全推進室	
日吉津村 総務課		
日吉津村 保健福祉課	日本交通株式会社 米子営業所	
日吉津村 建設産業課	日ノ丸自動車株式会社 米子支店	
日吉津村 教育委員会		
鳥取県 危機管理政策課	中国電力	
鳥取県 河川課	米子営業所（配電課）	
鳥取県 西部総合事務所 米子県土整備局	米子電力所（変電課）	
鳥取県 西部総合事務所 地域振興局	米子ガス 施設管理部	
鳥取県 警察本部	NTT西日本 鳥取支店	
鳥取県 米子警察署	NHK 米子支局	
鳥取県 黒坂警察署	日本海TV 報道制作局	
鳥取県 西部広域行政管理組合 消防局	山陰放送 報道部	
	山陰中央TV 報道制作部	
	中海TV	
	DARAZ FM	

：欠席

事務局	国交省 日野川河川事務所
聴講者	国交省 鳥取河川国道事務所
随行者	米子市 防災安全課

◆ 検討会の進捗と位置づけ



ワーキング① 重点行動項目の選定

- 事前作業にて精査した機関の行動項目（第1階層、第2階層）を、**第3階層（行動手段・内容がわかるレベル）**に細分化・具体化する。
- 日野川タイムライン（本検討会成果）は**多機関連携型**であることを踏まえ、各機関の行動項目のうち、**他機関との連携を伴う項目を「重点行動項目」**のとして選定し（4つ程度）、**第3階層への細分化・具体化の対象**とする。



テーブル内で情報共有し、同業者グループでは項目が重複しないように選定しました

重点行動項目の選定

TLレベル	主要イベント発生（機関ごと）	行動項目（第1階層）	旧No.	新No.	行動項目（第2階層）
TLレベル3	・内水氾濫の発生 ・水防団待機水位の超過 ・氾濫注意水位の超過 ・暴風域内	ガバナー浸水4ヶ所供給継続		3.1	体制の確認
				3.2	災害対策本部設置(危機管理レベル3)
				3.4	人員の確保
				3.5	工事区域・ガス工事物機保安対策
TLレベル4	・内水氾濫の発生 ・水防団待機水位の超過 ・氾濫注意水位の超過 ・暴風域内	ガバナー浸水4ヶ所供給継続		3.10	記念復旧機材の準備
				3.11	事前対策
				3.12	供給停止ブロック抽出（影響範囲特定）
				4.1	体制の確認
TLレベル5	・内水氾濫の発生 ・水防団待機水位の超過 ・氾濫注意水位の超過 ・暴風域内	ガバナー浸水4ヶ所供給継続		4.1	体制の確認
				4.2	災害対策本部 供給停止検討
				4.3	中海・矢道湖圏域都市ガスネットワーク協議会連絡
				4.4	事業関係先報告(ガス協会、経済産業局保安監督部・ガス事業連他)
4.1	4.6	緊要情報の伝達			

重点行動項目に選定した項目をチェック

各機関の事前作業

第1回検討会で各機関に抽出していただいた行動項目を事務局にて第1階層（大項目）で分類して第2階層に整理し、再度各機関にて抜けていないかを確認・補足していただきました。

①TLレベル	②主な発生イベント	③主な発表情報	④行動項目（第1階層）	⑤行動項目（第2階層）
レベル1	3日後に台風上陸	台風情報		
レベル2	2日後に台風上陸	台風説明会 台風情報 気象注意報		
レベル3	内水氾濫の発生	水防警報 洪水警報		
レベル4	避難指示/水位超過の見込み	内水氾濫警報 水防警報 洪水警報		

第1階層 行動項目：「何を」するか
・第2階層の行動項目を分類したもの

第2階層 行動項目：具体的に「何を」するか
・第1回検討会で抽出していただいた項目

ワーキング② 行動項目の細分化・具体化

➤ 選定した重点行動項目について、それぞれ重点行動項目対応シートを作成

重点行動項目 対応シート	機関名 NTT西日本鳥取支店	行動 項目 気象情報本部の整理	機関名 3-2
① 作業開始・完了 のきっかけ	(南内) 気象情報 (気象情報本部へ 問い合わせ)	(宛3) 気象情報本部 内水気温度情報 提供まで	③ 連絡の取れない メンバーへの対応 この行動を実行 する上での課題
② 対応手順 (行動の細分化) 所要時間	気象担当内で 本部立上げ検討 0.5h	気象担当より 本部長へ南取 を申し解モロ 0.5h	鳥取支店外実習 対象本部立上げ をメンバー実内 (メール) 0.5h
	TRF情報・気象台 気象情報収集 確認		気象メンバー 本部 へ募集完了 1h
	用文書へ水気 情報伝達 0.5h		気象HPへ掲載 0.5h

重点行動項目対応シートの一例

- ① 行動を開始するきっかけ、もしくは完了するきっかけ（完了していなければならないタイミング）を記入
- ② 行動項目を実行するための手順と所要時間を記入
※自機関の行動と他機関の行動を付箋で色分け
- ③ 行動項目を実行する上での課題を記入

<付箋の色分け>
 自機関の行動 : 黄色
 関係機関の行動 : 水色
 その他(きっかけ、課題)
 : ピンク色



機関ごとに行動項目の細分化・具体化①



機関ごとに行動項目の細分化・具体化②

ワーキング③ 参加機関で共有（機関ごとに発表）

➤ 各機関の重点行動項目について、「どのようなきっかけが必要となるか」、「行動を実施するために他機関とどのような連携が必要となるか」、「行動を実施する上での課題は何か」について、各機関より発表



全機関がそれぞれ重点行動項目における他機関との連携内容や課題を発表

気象台、鳥取県、河川事務所（情報提供チーム）の参加者には、各機関の行動項目の細分化・具体化への助言や課題抽出を行っていただきました。



重点行動項目シートや説明図などを使って発表していただきました。



機関ごとに行動項目の細分化・具体化③

◆ ワーキング成果・まとめ

- ワーキングで行動項目を細分化・具体化、共有したことで、**それぞれの機関の発信する情報、求めている情報には繋がりがあ**ることがわかった。
- 各機関の発表では情報収集・伝達に関する項目が多く挙げられ、**“情報をどう収集・活用・伝達するか”**が全体としての課題であった。また、要望として**“必要な情報の一元化”**を望む声が多かった。
- 本検討会がタイムライン作成のゴールではないので、**訓練や出水時の運用を通して改善していく**ことが大切。

◆ 次回 第3回検討会

- 開催：3月27日（火）13:30-16:30（予定）
- 内容：各防災行動項目を「いつ」「誰が」「誰と」実施するかを確認する
 - ① 行動項目の主体・連携主体を確認
 - ② 行動の所要時間などを確認

事前作業の
お願い

重点行動項目及び「重点行動項目対応シート」の精査をお願いいたします。
※詳細は事務局よりご連絡いたします。